

報道関係者各位(参考情報)

2019年10月24日

第19回 ファンケル クラシック

3,585,539 円を3団体に寄付

株式会社ファンケルは、2019年8月23日(金)～25日(日)に開催したPGAシニアツアー「ファンケル クラシック」(公益社団法人 日本プロゴルフ協会※1 主管競技)にて行ったチャリティ活動で集まった総額 3,585,539 円を、『ファンケル クラシック基金』を通じて「静岡県裾野市」と「社会福祉法人訪問の家」、「国連WFP」の3団体に寄付いたしました。

※1:公益社団法人 日本プロゴルフ協会(=PGA、所在地:東京都港区、会長:倉本昌弘)

当社は、同大会を社会貢献活動の一つと位置付けており、ギャラリーの皆さまからの募金の受け付けやプロ愛用品のオークションなど、積極的なチャリティ活動を実施しております。今年も皆さまから多額の募金が集まりました。ご協力いただいた皆さまには、心から御礼を申し上げます。

また、今大会には 22,157 人のギャラリーの皆さまにご来場いただきました。これにより、同大会のギャラリー数は 10 年連続で 2 万人を超えました。

◆『ファンケル クラシック基金』とは

PGAシニアツアー「ファンケル クラシック」は、「シニアの元気が日本の元気!!」をスローガンに、静岡県裾野市の裾野カントリー倶楽部で、2001 年から開催しています。

同大会では、第1回大会より収益金の一部を大会開催地である裾野市などへ寄付してまいりました。2007 年には社会・地域の皆さまへの貢献活動をさらに充実させるために『ファンケル クラシック基金』を設立し、積極的なチャリティ活動を展開しております。

同基金は、当社の社会活動の方針である「地域とのつながり」、「ハンディキャップを持つ方々との交流」を柱とし、運営委員会が寄付先を選定しており、今回は大会開催に先立ち行われた同委員会の協議で3団体への寄付が決まりました。

当社は、今後も『ファンケル クラシック基金』のほか、さまざまな形で社会貢献活動を続けてまいります。



ファンケル クラシック会場での募金活動の様子

【『ファンケル クラシック基金』運営委員】

高橋勝成氏(プロゴルファー)

二宮清純氏(評論家・スポーツジャーナリスト)

池森賢二(株式会社ファンケル 代表取締役 会長 ファウンダー ・ ファンケル クラシック大会会長)

【2019 年度寄付先】

寄付先		寄付金額(円)
静岡県裾野市	「ファンケル クラシック」の会場である裾野カンツリー倶楽部は、静岡県裾野市にあります。大会会場の地元で有形無形のご支援をいただいている自治体です。	1,195,180
社会福祉法人 訪問の家	「重い障がいがあっても、たくさんの人と関わり青年期を豊かに暮らしてほしい」という思いから、障がいのある方の家族と日浦美智江前理事長により 1985 年に設立された社会福祉法人です。 重度・重複障がい者通所施設「朋(とも)」の開設以来、現在は 27 の関連施設で活動を展開しています。	1,195,180
国連WFP	国連WFPは、飢餓と貧困の撲滅を使命に活動する国連の食糧支援機関です。自然災害や紛争の被災者、妊婦や授乳中の母親、栄養失調の子ども、遺児、病人、老人など最も貧しい暮らしを余儀なくされている人を対象に食糧支援を行っています。	1,195,179
合計		3,585,539

本件に関する報道関係者の皆様からのお問合せ先

株式会社ファンケル 社長室 広報グループ

TEL:045-226-1230 FAX:045-226-1202 / <https://www.fancl.jp/>